

「職業リハビリテーションにおける私の実践と研究を振り返って」



仲村 信一郎

はじめに

- 職業リハビリテーションとは・・・

障害者への職業生活の自立に関する支援
(職業指導、職業訓練、職業紹介)

日本では障害者雇用促進法の雇用率(1.8%)
制度を中心とした施策

アメリカでは、ADA(障害者差別禁止法)

雇用上の障害者（用語の定義）

1. 障害者（障害のため職業生活に影響）
2. 身体障害者（手帳1～6級）
3. 重度身体障害者（手帳1～2級）
4. 知的障害者（療育手帳）
5. 重度知的障害者（A度（重度）、及びB度（中・軽度）でも重度判定を受けた者）
6. 精神障害者（精神障害者保健福祉手帳）

重度はダブルカウント

※高次脳機能障害者、発達障害者

入社まで

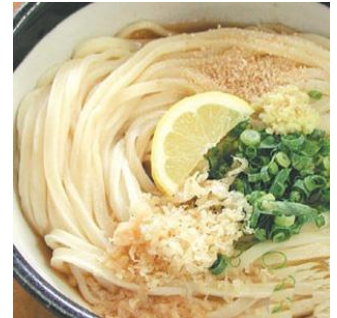
- 大学でのサークル活動
- 大学で学んだ心理学(心理テスト・カウンセリング)に関する仕事につきたいと就職活動
- 雇用促進事業団職業リハビリテーションカウンセラー→全国に心身障害者職業センターが設置された3年後に入社。
- 現在は、高齢・障害者雇用支援機構の障害者職業カウンセラーとなっている。

香川心身障害者職業センター(初任地)

在勤期間:昭和60年(1985年)6月～平成2年(1990年)3月

<この頃の主な出来事>

1985年 日本初のエイズ患者を認定 →現在、内部障害者として認定可能、男女雇用機会均等法が成立、日航機墜落事故



- 東京の2ヶ月の研修後、実践に
 - この頃、知的障害者の養護学校高等部での**職業評価**を多く担当
 - まだ経験の乏しいカウンセラーとして進路決定に関する事に意味があったか？
- 意味がある。なぜなら、親は自分の子どもを縦断的に見ておりよく知っているが、専門職は短い時間だが、横断的に数多く見ており、比較検討でき、さらに適性検査結果と進路の結果の結びつきをよく知っている

<この頃の主な出来事>

1986年 男女雇用機会均等法施行。チェルノブイリ原子力発電所事故発生。
土井たか子が主要政党で日本初の女性党首、シートベルトの着用が原則義務化

<聴覚障害者の関り>

- ・聾学校高等部での職業評価
- ・月1回職場の手話講習会→手話サークルに
→役員となり聾啞協会打合にも参加
(感想;立場が逆に・・・)



<この頃の主な出来事>

1987年 土地や証券の投機が経済全体に波及。いわゆるバブル経済が1991年まで続く。安田火災がゴッホの「ひまわり」を53億円で落札。大韓航空機爆破事件

<地域事例研究会への参加>

- ・月1回参加することで、病院や児童相談所の職員の発表を聴講
- ・私は、中学校特殊学級の男児のアスペルガー症候群のロールシャッハ・テストの発表とバウムテストの発表

<この頃の主な出来事>

1988年(昭和63年)の瀬戸大橋開通は香川県と岡山県にとって大イベント、青函トンネルも開通、リクルート事件、ドラクエ3、東京ドーム完成、ソウルオリンピック開催。

- 職業リハ業務が日本障害者雇用促進協会に一元化された。具体的には、・・・
- 雇用率引き上げ1.5%→1.6%
- 職業準備訓練(ワークトレーニング社)も本格開始



<この頃の主な出来事>

1989年 昭和天皇、病気のため崩御、元号が昭和から平成へ、消費税3%導入、ベルリンの壁崩壊

<平成元年度職リハセミナー発表>

当時、知的障害者の社会生活能力を調査するため、助成金の支給額に関する調査票(上・中・下)とさらに独自の指導のための調査票(A.B.C.D.E)の2種類を利用していた。しかし、独自の調査票の根拠を全国的に尋ねたが、誰も知らないようであり、単にABCと付けているだけのようだった。そこで、その段階を進路結果と照合する研究発表を行った。

結果は、調査票(上・中・下)段階は就職率の割合と段階が一致していたが、調査票(A.B.C.D.E)はバラバラであった。

新潟障害者職業センター

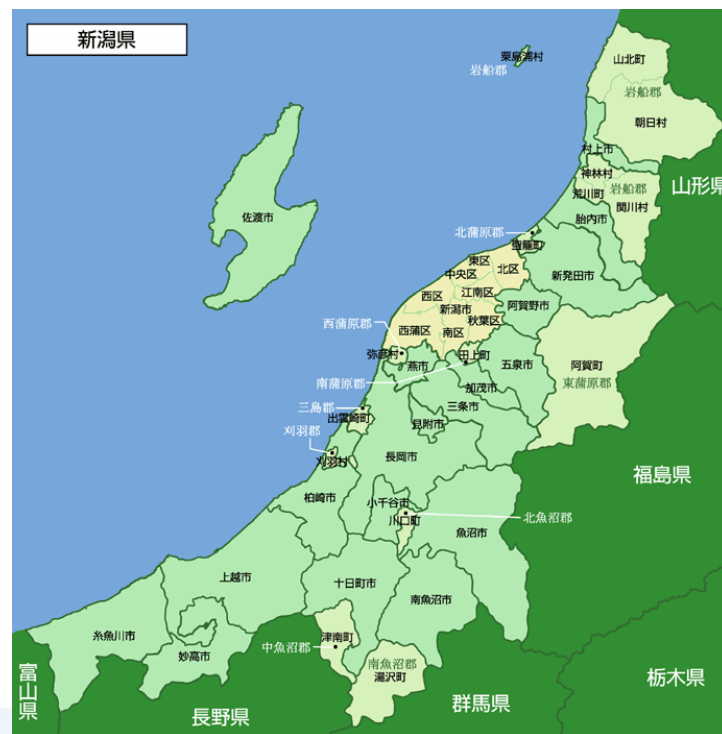
<この頃の主な出来事>

1990年 礼宮文仁親王、川嶋紀子が結婚。秋篠宮家を創設。

国際花と緑の博覧会 東西ドイツの統一

アメリカ障害者法(ADA: American Disabilities Act)あらゆる差別の撤廃

- ・香川県に比べ新潟県は
- ・出張計画も雪を考慮して行った。

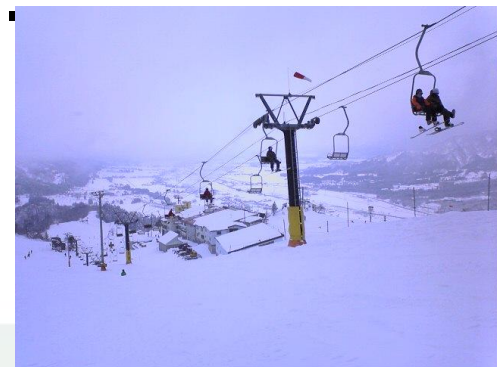


<この頃の主な出来事>

1991年 湾岸戦争勃発、バブル景気が終焉する(当時日本の地価総額1842兆円に対して米国の地価総額403兆円)、雲仙普賢岳の噴火、ソビエト連邦の崩壊、女優宮沢りえヘアヌードが写真集の日本記録達成、ドイツ、ベルリンへの首都移転決定

1992年 バルセロナオリンピック開催、毛利衛がスペースシャトルで宇宙飛行、ハウステンボス開業、東海道新幹線のぞみ運行開始、きんさん・ぎんさんブーム

- ・この頃、職業準備訓練の担当となり、ワークトレーニング社の「工場長」としての業務も行った。
- ・平成3年4月に障害者職業総合センター開所
- ・平成4年に職域開発援助事業(現ジョブ・コーチ支援事業)が開始された(先輩が担当)。



愛知障害者職業センター豊橋支所

<この頃の主な出来事>

1993年 ヨーロッパで欧州連合(EU)が発足。ビル・クリントン米国大統領に就任。

マーク・アンドリーセンら、WebブラウザNCSA Mosaicを公開。World Wide Webの普及が始まるきっかけとなった。細川護熙内閣成立 Jリーグが開幕 皇太子徳仁親王、小和田雅子と結婚。田中角栄元首相が死去 アナウンサーの逸見政孝が死去

支所では、職域開発援助事業(ジョブ・コーチ)の実施が始まっていなかったが、実際には、支所では私が担当することになり、職業生活支援も兼ねてとのことで、精神障害者作業所のワークショップエフの精神障害者から、額縁製造会社の丸永への就労支援。

出勤していない知的障害者を起こしに行く等、力技も使ったの試行錯誤的な支援も行った。

<この頃の主な出来事>

1994年 村山富市内閣発足、松本サリン事件発生、大江健三郎がノーベル文学賞
ハートビル法

1995年 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件、Windows95発売。

- 平成7年1月17日阪神・淡路大震災が発生。豊橋市のアパートで寝ていても揺れに気づいて起きたくらいであった。
- 東三河は精神障害者の職親制度(社会適応訓練事業)が日本でも進んでいる地域であった。
(愛知県の精神保健職親会の会長は豊橋市の東海食膳の今川氏である)



<この頃の主な出来事>

1996年 橋本龍太郎内閣発足、大腸菌O157が発生し全国各地に、将棋の羽生善治棋士が史上初の七冠王、アトランタオリンピック開催、たまごっちブーム

<海外研修>

1996年10月に約2週間、先進国の精神障害者の雇用等に関する情報を調べに行くことになった。その頃はインターネットもあまり発達しておらず、現地情報は直接はいりにくい時代であった。

私は、「アメリカの精神障害者の職業前訓練と地域医療住居システム」として報告した。

それは、脱入院を促進するACT(包括型地域生活支援)として発展しており、日本でも千葉県市川市にある国立精神・神経センター精神保健研究所がACT-Jとして実施している。

＜海外研修＞



- ・カンサス州にあるメニングガー・クリニックは全米の精神科病院の格付けでも1～2位でお金に糸目をつけない患者のための病院であった。カレン・カーペンター(1983年死去)も治療を受けたという摂食障害治療でも有名な病院である。
- ・ニューヨークのサウス・ビーチ病院で慢性統合失調症者に対してトークン・エコノミー等を行っている病院であった。

<この頃の主な出来事>

1997年 香港、イギリスから中国に返還、ダイアナ元皇太子妃、パリで交通事故死。消費税5%に増税。北海道拓殖銀行破綻・山一証券破綻

<臨床心理士資格の取得>

大学時代の臨床心理学の知識を当時の最新の知識にするには良い機会であった。大学時代は心理テスト、精神分析、ロジャースの来談者中心療法等を勉強していたが、新たにミルトン・エリクソン等のシステム・アプローチや動作療法等もこの頃知識として補った。

大阪障害者職業センター

<この頃の主な出来事>

1998年 長野オリンピック開催、明石海峡大橋開通、郵便番号7桁化、小渕内閣発足、Windows98が発売

- 精神薄弱を知的障害と呼称の変更
- 自殺者が増えた年。無職の年配の男性の自殺が多く、うつ病も見逃せない要因。
- 職域開発援助事業（現ジョブ・コーチ）担当
- 大阪の地域性による連携

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

<この頃の主な出来事>

1999年 ヨーロッパ単一通貨ユーロ登場、乙武洋匡薯の五体不満足が400万部のベストセラー、「だんご3兄弟」が290万枚の大ヒット、コンピュータ2000年問題

- 岡山県の山間部の吉備高原都市にあり、岡山市からのバスの便が1日に2～3本。
- 吉備障害者職業訓練校と広域障害者職業センターが合体した施設であり、医療センターが併設。



<この頃の主な出来事>

2000年 介護保険制度が始まる、小渕恵三総理大臣が死去、2000円札発行、シドニーオリンピック開催、営団日比谷線脱線衝突事故、有珠山、三宅島・雄山が噴火。

1月に結婚、10月にハネムーンベビー男児誕生。

交通バリアフリー法(車椅子使用者の移動)

- 身体障害者の入所選考と後の訓練科決定、職業訓練中の生活適応相談を担当。
- 入所校後の訓練科決定のための作業評価
- 担当カウンセラーが実施していたが、知的障害訓練場の確保のため、作業評価を訓練指導員が行うようになる。

<この頃の主な出来事>

2001年 9.11同時多発テロ事件日本、中央省庁再編(厚生労働省発足)、小泉内閣発足、池田小事件、ユニバーサル・スタジオ開園、東京ディズニーシー開園。
WHOがICIDH(国際生活機能分類)をICF(国際生活機能分類)に変更

- 田舎であり、家でインターネットをはじめ、多少パソコンに詳しくなる。
- 昨年8月扁桃腺の入院中、暇でホームページの案を練り、この年の5月心理学・職リハ・ビートルズに関するホームページの案を「**ナカムラヤンの宮殿**」としてホームページにする。
- ボランティアのメールカウンセリング実施

<この頃の主な出来事>

2002年

EU域内12カ国、通貨をユーロに統合、学習指導要領改正、完全週五日制などゆとり教育化が進む。ゆるやかな景気回復へ、小柴昌俊(物理)と田中耕一がノーベル賞

- 精神分裂病から統合失調症に呼称変更
- 国立職リハで精神障害者訓練開始
- 職域開発援助事業からジョブコーチに発展

<この頃の主な出来事>

2003年 スペースシャトル・コロンビア号が帰還に空中分解。
。イラク戦争開戦、フセイン政権崩壊。**SARSがアジアを中心に世界的に大流行**

- ・日本障害者雇用促進協会から独立行政法人高齢・障害者支援機構に組織変更される。
- ・職業訓練中の生活適応相談で、ドロップアウトしそうな訓練生をカウンセリングで支えた成功事例を職リハ学会誌に投稿→翌年掲載
- ・「精神的混乱のため突然退所を申し出たクライアントへのアプローチ」職業リハビリテーション 第17巻第2号

日本職業リハビリテーション学会 価格：1,800円 発売日：2004年03月31日

私の5年間の訓練生活相談の実践から考えた表

表 精神的問題のある身体障害者の4パターン

	精神科受診	周囲との関わり	対処法
ノイローゼ	自分から行くことを欲する。	主に自分が苦しんでいるが、時に他者への攻撃に出る。	自己反省できるタイプなので、精神科受診とカウンセリングで回復が一番見込まれる。
他罰的タイプ	自覚がないため、自分からは行かない。	周囲からの被害的観念から、常に攻撃的になる。	事実と被害的見解の食い違いに気づくような指導をすること。程度のひどい場合は、受診が望ましい。
反社会行動化型	病的なものとそうでないものがある。	反社会的なことをついでしてしまう。覗き見、窃盗、返せるあてのない借金をする、暴力等	病的な場合もあるが、指導及び適切な処分により改善への道筋をつけることが大切、但し更生の難しい場合が多い。
境界性人格障害	抑うつ症状があるため自分から行く。	オールグッド・オールバッドの両極の観念から、態度は激変する。	職員間で悪い者探しをしないようにする。自傷等の行為については、しないよう確約させる。

国立職業リハビリテーションセンター研究室

<この頃の主な出来事>

2004年 新潟県中越地震発生、死者65人。アテネオリンピック、年金制度問題が深刻化、福岡ソフトバンクホークス誕生。新札が発行される。 11月次男誕生。

- カウンセラーから、研究員に職種転換
- 精神障害者の職業訓練(5か年計画)の4年目に共同研究として関る。
- 精神障害の就労は、企業内訓練が主流となっており、2002年から始めた訓練生は中途退所者もあり、就職者はいなかった。
- 技能訓練に並行して、職業生活支援実施(就職者も出てくる)



<この頃の主な出来事>

2005年 中部国際空港開港、愛・地球博開催、JR福知山線脱線事故発生、衆議院議員総選挙、自由民主党圧勝、郵政民営化関連法案成立。日本人口が戦後初めて減少。

* 平成17年4月に「発達障害者支援法」が、また、平成17年10月に「障害者の雇用の促進等に関する法律」の一部改正法が、それぞれ施行され、発達障害者や精神障害者に対する支援が強化された。障害者自立支援法(平成17年法律123号)の施行による福祉から雇用の政策展開

- ・ 調査研究報告書No.70「精神障害者の職業訓練指導方法に関する研究—技能訓練と職業生活支援—
・ ~指導・支援者のためのQ&A~
(ホームページから全てPDFファイルでご覧になれます)
- ・ 研究協力同意を得る場合の実務者と研究者の違い



<実務者と研究者のアプローチ法の違い>

- 実務者(カウンセラー等)のアプローチ法
自らの実務の経験から発生した疑問(リサーチ・クエス
ション)を調査
- 研究員のアプローチ方法
 - ①文献調査
 - ②観察(参与的観察やデータ収集を含む)
 - ③アンケート調査
 - ④インタビュー(研究協力者。専門家ヒアリングを含)
(処理の方法は、「質的研究」と「統計処理」)

障害者職業総合センター研究部門

<この頃の主な出来事>

2006年 ライブドア社長堀江貴文逮捕、トリノオリンピック開催、荒川静香金メダル 地上デジタルテレビの「ワンセグ」が開始、小泉純一郎が満了、後任に安倍晋三
バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)

- 所沢に研究室はなくなり、幕張に統合された。従って、場所は移動したが、所属は同じ。
- ここでの私の担当は、障害者の家族会等のヒアリングやアンケートで出てきた家族支援の課題を文献によって調査するということであった。
- 調査研究報告書No.75補遺「家族支援の枠組みと関係機関の取り組みの課題」



<この頃の主な出来事>

2007年 宮崎県知事選挙で、東国原英夫(そのまんま東)が当選、団塊世代の大量定年退職がはじまる(2007年問題)、松岡利勝農林水産大臣が自殺。中日ドラゴンズが53年ぶりに日本シリーズの日本一となる。

平成19年度から「福祉から雇用へ」推進5か年計画

- 私の担当は、当機構がホームページ上で公開している障害者雇用リファレンスサービスを使って、職場適応の好事例分析
- 精神障害者の就労アセスメントへの問題意識
- ワークサンプル法の文献レビュー
- 4月から「諸外国の発達障害者の支援技法」

まとめ

- 振り返ると、地域・広域・総合センターと経験
- 直接的な支援と間接的な支援
- これから、今までの経験を活かして、障害者の職業自立のためにより役立つサービスをしていきたい。

